

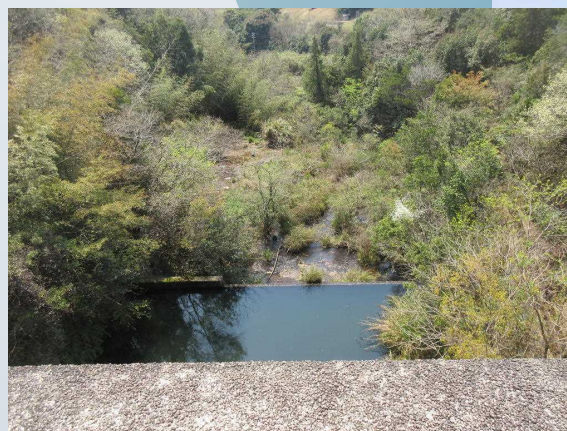
テーマ「江畑溜池堤防」

ジャンル：歴史的史跡

初代の江畑溜池はかんがい用溜池として明治22年（1889年）に現在地の約500m上流に土堰堤で完成しましたが、翌23年の豪雨により堤防が決壊したため下流に大きな被害をもたらしました。その後再建計画が立てられましたが、被害を受けた下流の賛同が得られず実現にはいたりませんでした。現在の江畑溜池堰堤は災害から40年を経た昭和2年（1927年）に再建が計画され、翌年9月に起工、同5年（1930年）12月に完成したものです。

江畑溜池堰堤は玉石コンクリート造重力式かんがい用ダム堰堤で堤高14.4m、堤長68.8m、堤体積17,100m³、貯水量が45万立方メートルとなっています。

江畑溜池堰堤はその重要性から平成13年10月に文化庁登録有形文化財（建造物）と近代土木遺産に登録されています。残念なことに堰堤の高さが14.4mであるためダムとしては0.6m高さが足りず、分類では堰となっています。



江畑溜池 堰堤から撮った写真



大きな記念碑がありました

